

## 第2次古賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に関するパブリック・コメントの実施結果

令和6年3月27日 環境課

第2次古賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に対してパブリック・コメント手続を実施した結果について、古賀市パブリック・コメント手続実施要綱（平成20年3月告示第20号）第11条第1項の規定に基づき、次のとおり公表します。

(1)政策等の題名	第2次古賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）
(2)政策等の案の公表日	令和6年2月13日（火）
(3)パブリック・コメント手続の実施期間	令和6年2月13日（火）から令和6年3月13日（水）（30日間）
(4)意見等提出者数	2名
(5)提出意見等件数	2件
(6)提出意見等を考慮した結果及びその理由	下記のとおり

【提出意見等を考慮した結果及びその理由】

番号	該当項目	パブリック・コメント（ご意見）の内容	計画への反映	ご意見への回答
1	計画全体について	<p>現行の計画案では、温室効果ガスの削減対策が必要であるとの認識があったにもかかわらず、なぜ危機的状況に陥ったのか、主な問題点はどこにあったのかと言った問題点の認識に欠けた計画になっているように感じられ、このままでは以前と同様に絵に描いた餅になってしまいそうな気がします。また、計画案では、予測される問題とその対処について記載されているばかりで、既に知っていることが多いと感じます。</p> <p>温暖化対策の本質的な事柄は何なのでしょう。対策を急がないといけない状況にあることは間違いありませんが、やはり私たちの考えの何処に問題があり現在の状況に陥ったかを反省すること無くしての計画では実りが少ないと思います。</p> <p>温暖化は長期的でかつ関連することが多岐に渡った事項であるため戦略が不可欠と考えますが、計画案は戦術しか議論されていないと思います。きちんとした分析を行った上で対策を考えることが必要だと思います。</p>	<p>P.3の文言について、次のとおり修正（追記）します。 「今後は、今まで以上に地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制し、（略）。」</p> <p>P.8について、次の文言及び図表を追記します。 「(3) 本市の地域特性 本市の自然的条件、社会的条件、経済的条件を下表に示します。」 「表 1-1 本市の地域特性」</p> <p>P.32の文言について、次のとおり修正（追記）します。 「地球温暖化が原因とみられる気候変動による影響は、急速に深刻化しています。この影響を最小限に抑え、豊かな自然を守り、（略）。」</p>	<p>市では地球温暖化の現況や問題、対策の必要性について、市に関わるすべての人に関心を持ってもらい、その問題の理解を促し、積極的に対策に取り組む人を増やしていくことが必要であると考えており、計画本編では基本的な事柄を中心に記載しており、資料編では専門的な内容を記載しています。</p> <p>地球温暖化対策の本質的な事柄につきましては、「第3章 第1節の(2)カーボンニュートラルとその実現に向けて」に記載しているとおりです。</p> <p>また、ご意見を踏まえて、早急な対策が必要となっている現状や私たちの行動を省みた上での対策実施の必要性、市の地域特性の分析結果等について文言追記いたします。</p>

番号	該当項目	パブリック・コメント（ご意見）の内容	計画への反映	ご意見への回答
2	P.49 市が実施すべき施策と 取組【施策の方向性】 について	<p>民生部門のCO2削減の項目として「家庭や事業所における廃棄物の減量化や資源化の促進等、循環型社会の形成に取り組むことにより、廃棄物の収集や運搬、焼却によるCO2排出量の削減をめざします。」と2行で説明されています。この表現は当該10年間だけに限らない常套的な内容になっております。私は、これまでの第一次の10年間の業績と反省をふまえて、当該第2次計画では、上記の方向性に一步踏み込んだ以下の内容を、加筆・実行されることを要求します。</p> <p>「特に、ごみ焼却にあたっては、化石燃料（助燃材）の使用を極力抑えた焼却方式を採用し、業務部門でのカーボンニュートラルの実現に努めます。」</p>	<p>P.42の文言について、次のとおり修正（追記）します。</p> <p>「・再エネ由来水素等を活用した水素設備やメタネーション、バイオ燃料等のカーボンニュートラル燃料の活用に関する技術動向について情報収集・発信、活用の可能性の検討に努めます。」</p> <p>「・水素の活用に関する技術動向について情報収集・発信、活用の可能性の検討に取り組みます。」</p>	<p>ご意見のとおり、化石燃料の使用を抑えた焼却方法の活用はゼロカーボンシティ実現に向けて必要な対策の一つだと考えます。カーボンニュートラル燃料の活用の可能性の検討について文言追記します。</p> <p>あわせて、当該計画に基づき、今後具体的な取組の展開に努めてまいります。</p>